

第9回 イスラム教・仏教(1)

- | | | |
|-----|--|--------------|
| 1 A | 6世紀, アラビア半島に生まれた一神教を何というか。 | イスラム教 |
| 2 A | 40歳のころ, 神の啓示を受けて預言者の自覚をもち, 神の前の平等を説いて迫害を受けたが, 剣とコーランとによってアラビア半島を統一したのち, その生涯を終えたイスラム教の開祖は誰か。 | マホメット(ムハンマド) |
| 3 A | マホメット生誕の地であり, カーバ神殿のある場所で, 信徒がその方向に向かって礼拝を行う町の名前を何というか。 | メッカ |
| 4 A | イスラム教の信者のことを, アラビア語で何というか。 | ムスリム |
-
- | | | |
|-----|---|------------|
| 1 A | もとはメッカの町の最高神の一つであったが, イスラム教で唯一絶対とされている神を何というか。 | アッラー |
| 2 B | イスラム教では禁止されている, 神の像を刻んだり描いたりしてこれを拝むことを何というか。 | 偶像崇拜 |
| 3 A | 神がマホメットを通してあたえた啓示が記されている, イスラム教の聖典を何というか。 | 『コーラン』 |
| 4 A | イスラム教で信じなければならないとされている六つのことがらのうち, アッラー・天使・聖典以外のあと三つは何か。 | 預言者、来世、天命 |
| 5 A | アッラー・天使・聖典・預言者・来世・天命を信じることを何というか。 | 六信 |
| 6 A | イスラム教における五つの宗教的実践のうち, 礼拝・巡礼以外の残り三つは何か。 | 信仰告白、断食、喜捨 |
| 7 A | 信仰告白・礼拝・断食・喜捨・巡礼の宗教上の実践を何というか。 | 五行 |
-
- | | | |
|------|---|-----------|
| 1 A | アーリア人の進入によって成立した, 古代インドの厳格な身分制度を何というか。 | カースト制度 |
| 2 A | カースト制度における僧侶の身分の呼称を何というか。 | バラモン |
| 3 A | カースト制度における士族の身分の呼称を何というか。 | クシャトリア |
| 4 A | カースト制度における庶民の身分の呼称を何というか。 | ヴァイシャ |
| 5 A | カースト制度における奴隷の身分の呼称を何というか。 | シュードラ |
| 6 A | 古代インドの自然宗教を基礎に形成された民族宗教で, のち祭礼の形式化によって批判を受けることになった宗教を何というか。 | バラモン教 |
| 7 A | バラモン教の四つの根本的な聖典をまとめて何というか。 | 『ヴェーダ』 |
| 8 A | 祭儀中心主義に対する批判から生まれた, 宇宙と個人の本質を探求することによって苦からの脱却をめざそうとする, バラモン教の基本を形成する哲学を何というか。 | ウパニシャッド哲学 |
| 9 A | 宇宙の根源にある最高原理のことをウパニシャッド哲学では何というか。 | ブラフマン(梵) |
| 10 A | 個人の根源にある本来的自己のことをウパニシャッド哲学では何というか。 | アートマン(我) |
| 11 A | 宇宙の最高原理と本来的自己とは, 根源的には一つのものであるという, ウパニシャッド哲学の真理を何というか。 | 梵我一如 |
| 12 A | 行為やその行為の結果を意味することばを何というか。 | カルマ(業) |
| 13 A | 霊魂は不滅で, 肉体が滅びた後も次々と他の生命体となって生きつづけるという思想を何というか。 | 輪廻転生 |

- | | | |
|------|---|---------|
| 14 A | 苦しみから脱して、心安らぐ境地にいたることを何というか。 | 解脱 |
| 15 B | 殺生を禁じて慈悲を重んじ、厳しい修行によって苦しみからの脱却をはかろうとする古代インドには
じまる宗教を何というか。 | ジャイナ教 |
| 16 B | ジャイナ教の開祖は誰か。 | ヴァルダマーナ |
| 17 A | 古代バラモン教に民間信仰がまじりあって生まれた宗教で、今日ではインド教といわれている宗教を
何というか。 | ヒンズー教 |